

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 29 年 7 月 18 日		
留 学 先 大 学	国立政治大学 (国名： 台湾 )		
所属学部・学科等名	中国文学系		
在 籍 身 分	交換生		
留 学 期 間	平成 28 年 9 月 12 日～平成 29 年 6 月 23 日		
<b>1. 渡航について</b>			
ビザについて	ビザの種類： 居留ビザ		
	ビザ申請先： 台北駐福岡経済文化分處		
	取得方法，提出書類： 規定の健康診断書、申請書、入学許可証		
	手続きに要した日数： 1 日		
その他必要な事前手続き			
出 国 年 月 日	平成 28 年 8 月 29 日		
経 路	福岡空港→台湾桃園国際空港		
現 地 での 出 迎 え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無 希望すれば有		
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	交換留学生全体のオリエンテーションが英語で行われた		
帰 国 年 月 日	平成 29 年 6 月 24 日		
経 路	台湾桃園空港→福岡空港		
<b>2. 留学経費について</b>			
所要経費	総額	59 万 円	
	内訳	渡航費	3.5 万 円
		保険料	9.5 万 円
		教科書代(学費)	1 万 円
		宿舍費	8 万 円
		食費	20 万 円
		その他 ( 交通費、雑費) ( ビザ申請費等)	15 万 円 2 万 円
<b>3. 授業について</b>			
前期	9 月 12 日 ～ 1 月 13 日		
後期	2 月 13 日 ～ 6 月 23 日		

授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	現地の学生との授業は聴講という形でも受け入れてくれるので参加してみると刺激がもらえると思います。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 <input type="text"/> m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 3人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり <input type="text"/> 2000NTD(現地通貨) 約 <input type="text"/> 8000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	大学の寮は少し古く不便ですが安いので生活費の節約になります。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	<input type="text"/> により <input type="text"/> 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 <input type="text"/> 94180 円 補償額 死亡 <input type="text"/> 1000000 円, 入院1日 <input type="text"/> 円 その他 ( )
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	病院は数多くありますが、現地の健康保険カードを手に入れるまでは高額となるので健康状態には気を付けることに越したことはないと思います。
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	屋台で販売されているものや、海鮮系全般などは気温も高いため衛生環境には気を付けて購入したほうが良いと思います。
(3) 危険を感じた地域, 状況	

特にありません。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
学生寮に暖房設備はありませんが、冬は意外に冷えることもあるので防寒対策は必要です。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 29年 6月 (当初の卒業予定年月 平成 29年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input checked="" type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	就職活動中です。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫		
<b>6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>		
書籍、サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
自分の目的達成のため、時間をどう使うか、誰と交流するのか等よく考えることで留学生活の充実度は変わってくると思います。		

私は中国語のクラスがメインのコースを選択していたのですが、講義を担当する先生との交渉次第では本科生と同じ授業も聴講という形で参加することが可能でした。（単位はとることができませんが、毎回必ず出席することや、課題の提出、グループワークへの参加などは本科生と同様に求められることが多いと思います。）ここでは主に中国語の授業について言及することにします。

中国語の授業はテストによってクラスが分けられ、月曜日から金曜日まで1日3時間行われます。学期の分け方が本科とは異なり、1年を4つのタームに分けて行われており、基本的にタームごとに一つ上のレベルに進むことになり、クラスのメンバーも変わります。1クラスは6~10人ほどで、留学生のみで構成されますが、レベルによってはアジア人中心であったり、日本人率が高かったりと多少偏りがあります。実際に、クラスの半分が日本人というタームもありました。留学に来てまで日本人と同じクラス？と抵抗を感じる人もいるかもしれませんが、それはどこの国、大学に行っても起こりうることだと思います。授業はレベルごとに教科書に沿って進められ、毎日課題も課せられますし、クラスメートの前でプレゼンテーションを行う機会もあります。どの先生も様々な国や地域から学生が集まっている利点を生かそうと、自国の制度や文化などについて聞かれることも多くありました。話題も多種多様なので、幅広い分野で役立つ表現方法などを習得することができます。また、先生方は非常に熱心なので生徒の知的好奇心に対して十分すぎる対応をしてくださるという印象を持ちました。ただ、課題のこなし方や授業に臨む態度、中国語学習の目的や目標は個人で異なるので、やはり一番大事なのは自分のやりたいことを持ち、周りに惑わされないことだと思います。

私は現地の人々の考え方を彼らの言葉で聞きたい、感じたいという思いがあったので積極的に台湾人に話しかけるようにしていましたが、結果的にはそれが言語の上達には一番役立ったような気がします。言語交換を行うのも留学生生活を充実させることにつながると思います。幸い、日本語の言語交換相手を見つけるのはとても簡単です。私も実際に週に3日ほど言語交換を行っていました。言語交換といっても様々な形式があって、私は一緒にご飯を食べたり、遊びに行ったりする中でひたすら話すという形だったので、特に気負うことなく取り組みました。

結果的に、一年時のSTARTプログラムで訪れた台湾、そして政治大学に再度長期でお世話になるという形になりましたが、STARTプログラムがなければ海外に興味を持っていなかったと思いますし、HUSAがなければ、興味をさらに追及することができませんでした。そういう点で、段階を踏んでいける留学制度が充実していると感じました。長期留学先として、台湾を選択する人は少ないですが、選択できる大学も増えてきているので、少しでも興味がある人は挑戦してみることを強くお勧めします。

**【交通】**

台北市内は公共の交通機関が非常に発達していますし、交通費も日本と比べて安いので特に不便に感じることはありませんでした。ただ、右側通行ですし、車の運転も荒く、車、バイク、自転車、歩行者はともに信号を守らないこともよくあるので道路横断時などは注意が必要だと感じました。

**【食事】**

基本的に外食文化ですし、寮では火を使うことができないため1日3食全て外食でした。大学内には朝ご飯を提供するお店もありますし、選択肢も比較的多いです。値段も安く、1食あたり日本円約200円で済ませることもできます。ただし、日本と比べ非常に油が濃いので苦手な人にとっては辛いかもしれません。現地の学生の間では政治大学周辺にはおいしいお店がないと評判でしたが、個人的には可もなく不可もなくという感じでした。台湾風ではありますが日本食を提供するお店も多く、日本とあまり変わらない食生活を送ることもできます。注意すべきことは衛生面だと思います。基本的に気温が高く食材が腐りやすいというリスクもありますし、環境に慣れていないことで体調を崩しやすいと思います。実際に3回ほど軽い食あたりを経験し、その期間は果物とスポーツ飲料に頼って生活していました。

**【気候】**

冬は想像以上に寒く、夏はとにかく暑く湿度が高いので一言でいうと辛いです。暖房設備を備えている施設は少ないですし、寮にもありません。冬の寒さ対策は必要だと思います。と言っても、1年の大半を夏が占めているような地域ですので、夏の暑さの方が攻略しにくいと感じました。特に4月から9月頃までは日本で言う夏日が続きます。日差しはもちろん強いので外出する際には日焼け止め対策、熱中症対策等必要かと思います。私は帰国前の6月は暑さで食欲がなく、夏バテ寸前でした。

**【人間関係】**

台湾人は親日だとよく言われます、確かに日本に興味を持っている人は多いですし、日本人に限らず、外国人に対して寛容だなと感じました。バスの運転手さんやコンビニの店員さんなどは良く話しかけてくれましたし、基本的におしゃべり好きな印象を受けたので、積極的に興味を示せば仲良くなれると思います。他国からの留学生との人間関係では、自分の意見は示すことが大事かなと感じました。最初のうちは、相手もストレートに意思を伝えてくるので戸惑うこともあるかもしれませんが、お互い本音をぶつけていくことで、相互理解も進むと思います。